

2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	いっばんしゃだんほうじんえすじーえすじー	
団体名	一般社団法人 SGSG	
代表者名	野村泰介	
連絡先	住所	岡山市北区奉還町 3-1-30
	TEL	086-897-2476
	E-mail	info@sgsg.work
	URL	www.sgsg.work
設立年（西暦）	2018 年	
助成活動名	岡山に住む外国由来の子どものための定期的居場所事業	
助成額	300000 円	
活動内容	目的	<p>外国由来の子ども若者支援において、教育行政は日本語指導および学習支援のボランティアを学校に派遣しているが、あくまで学校生活の不自由を解消する点にあり、対象者の放課後の時間、およびキャリア形成までカバーできているとは言い難い。更に、高校生世代になると支援は皆無となり、支援対象へのリーチも困難な状況である。中学生・高校生を対象とする場合、小学生以下の場合と異なり、目の前の生活救援だけでなく、自立のための教育的アプローチが求められる。この目標の実現のため、狭い意味での社会的問題設定だけでなく生活実践の日常的な問題も対象とする必要性がある。</p> <p>一方、支援のニーズは対象者の母国文化、日本語レベルなどまちまちであり、月に数回程度のイベント的な会を設定しただけでは「対象者が場に合わせる状態」に留まり、本当に支援を必要とする人には届かない。特に居場所的な支援を盛り込む場合に大切なことは「いつでもその場がある」状態であり、継続させることである。</p>
	内容	<p>2022 年 12 月に部分供用を開始した奉還町ユースセンターにおいて岡山に居住する外国由来の子どもが抱える、学習面やキャリア形成上の格差を埋めるため、2023 年 7 月より毎月 1 回、日本語初学者のための日本語多読勉強会を行った。講師には元岡山大学教授の坂野永理氏（岡山大学教授）をお願いした。同時に未整備であった部分の改修作業を行った。</p>
	成果	<p>2023 年 7 月より 2024 年 3 月まで毎月第 2 土曜日の午前中、日本語多読勉強会を行った。参加者は 1 回あたり 4～15 人であった。日本語初学の外国人だけでなく、日本人中学生・高校生の参加もあり、ユースセンターを国籍などに依らない場とすることの一定の成果は得られた。</p> <p>しかし、当初申請していた助成金が大幅に減額になったことにより、外国人対応できるスタッフを入れた常設の場としての機能を設けることができなかった。</p>
今後の課題と対応策	<p>2022 年度より整備を進めてきた奉還町ユースセンターの改修は、2023 年度で 9 割の進捗、2024 年度上半期には完成する予定である。2 年間に渡り、不完全な状況で使っていたセンターはようやく完全な形で様々な支援活動に使用することが可能となる。2023 年度行った日本語多読勉強会は 2024 年度も引き続き行う予定であり、また、中高生世代と多様な国籍・文化を持つ人たちとの交流も他の支援団体と連携しながら充実させる計画である。</p>	



写真の提出

